

令和4年度 岸根高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
① 法令遵守意識の向上 (法令の遵守、服務規律の徹底)	公務員としての自覚を持ち、公務外においても不祥事の防止に努める。	ア 不祥事防止会議、不祥事防止研修を定期的実施し、点検表提出により不祥事防止の意識を高めた。 イ 公務員としての意識を向上させるため、管理職や同僚による声掛けがいつでもできる、風通しのよい職場づくりを推進した。
② 職場のハラスメント (パワハラ・セクハラ・マタハラ等)の防止	円滑なコミュニケーションを通して職場でのハラスメントの防止に努める。	ア 円滑なコミュニケーションを築くために、気軽に相談できる雰囲気づくりに努めた。 イ 管理職による個別面談において、不祥事根絶のための自己点検シートの確認を行うとともにハラスメント防止について不祥事防止研修会を実施した。
③ 生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	人権を配慮したコミュニケーション手段の適正な利用	ア 生徒指導・相談等は必ず複数で対応するよう職員同士が意識しながら生徒に対応した。 イ 生徒の連絡先の収集・管理方法についてルールを周知し、個人情報持ち出し許可願の提出等すべての教職員で遵守することができた。 ウ 校長面接で事故不祥事等について注意喚起するなど未然防止を図った。特にわいせつ事案に関しては動画視聴による不祥事防止研修会を行い、全職員が意識を高めて未然防止に取り組んだ
④ 体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰・不適切な指導をなくす。	ア 生徒に対する個別指導は必ず複数で行い、人権を尊重した生徒指導を実践した。 イ 管理職による校内の定期的な巡視を行うとともに、不祥事防止研修会を行い、不適切な指導の未然防止を図った。
⑤ 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	定期試験、成績処理、進路関係書類に係る不適切な事務処理の防止	ア 入学者選抜マニュアルにしたがって各業務を丁寧に行い、正確かつ公正な選抜を実施できた。 イ 不祥事防止研修会の中で、成績処理や入学者選抜業務等での注意事項を周知した。 ウ 定期試験、成績処理、進路関係業務において、マニュアルに基づき、複数による点検を徹底した。
⑥ 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	生徒に係る個人情報を扱う際の意識の徹底	ア 定期テスト中はシュレッダーの使用を禁止するなど、個人情報の紛失、誤廃棄、誤配付、誤送信などの未然防止を徹底するとともに、不祥事防止研修会の中で個人情報の管理について周知した。 イ 情報セキュリティ対策基準に基づき、校内ネットワークや情報システムに関するべき安全管理を徹底した。
⑦ 交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通安全への意識を高め、交通事故の発生を未然に防止する	ア 不祥事防止研修において職員啓発資料やヒヤリハット事例等を周知し、職員の意識向上を図った。 イ 校長面接により教育公務員として交通法規の遵守及び交通安全について確認し、交通法規の遵守に関する意識を高めることができた。
⑧ 業務執行体制(情報共有、相互チェック体制、業務協力体制)	職員間の相互チェックや情報共有による適正な業務の遂行	ア 各業務において業務内容について職員間で十分に情報を共有し、複数による相互チェックを徹底した。 イ 互いの声掛けや協力体制の構築により、職員一人ひとりが孤立せず協力し合える職場づくりを行った。
⑨ 会計事務等の適正執行	財務規則等を遵守した適切な事務手続の徹底	ア 「私費会計基準」「私費会計事務処理の手引」についての理解を深め、公正な予算編成と適切な会計処理に努めるとともに、「岸根高等学校会計担当者マニュアル」を活用し、会計担当者に適切な会計処理の方法を周知した。 イ 年3回会計監査を実施し、私費会計が適正に執行されていることを確認した。 ウ 事務手続きが円滑に進むよう、複数職員による計画的かつ適正な出納管理を徹底した。

○令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題

(学校長意見)

- ・令和4年度の不祥事ゼロプログラムについては、定期的に不祥事防止会議や不祥事防止研修を実施するとともに、早急に周知が必要な事案が発生した場合は、朝の打ち合わせ等で注意喚起を行った。こうしたことにより、教職員の不祥事防止意識を常に啓発し、一人ひとりが自覚を持って、不祥事防止に取り組むことができた。
次年度も引き続き、各課題について、不祥事防止会議、不祥事防止研修会等を活用して不祥事ゼロを目指す。
- ・令和4年度、県内で不祥事等が発生している現状を踏まえ、令和5年度においても公務員としての自覚を持つことを一層徹底するとともに、職場内で相互に声を掛け合い、気になることはそのままにせず「ほう・れん・そう」を励行し、事故・不祥事がおこらない環境づくりに継続的に取り組む。
- ・特に入学者選抜業務においては、令和6年度入試制度が変更されることを踏まえ、改めて業務に当たる際の留意点などを再確認し、複数による点検作業やその他の業務を慎重かつ丁寧に行い、ミスを決して起こさない環境づくりに努める。